

世界かんがい施設遺産

げんべえがわ

源兵衛川

[静岡県・三島市]

Genbegawa Irrigation Canal

～地域関係者が一体となって
維持管理をしている水路～



■源兵衛川は16世紀に地元有力者である寺尾源兵衛によって建設され、中郷地域は豊かな水田地帯に生まれ変わり、現在においても地域農業を支えるかんがい施設である。

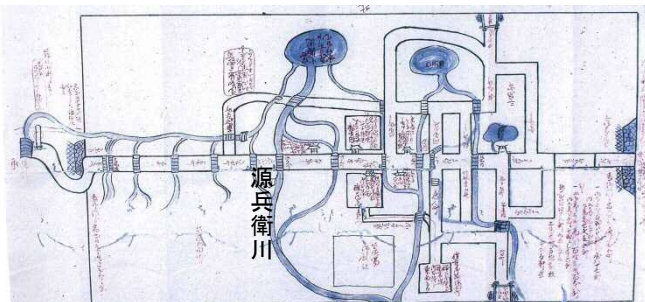
■護岸は富士山の溶岩を活用した石積みとなっており、富士山からの低温な湧水を農業用水に適した水温に上げるため、上流部の水路幅を広く、水深が浅くなるように建設するなどの創意工夫がなされている。

■1960年代以降は都市化や流域開発により水質や環境が悪化した時期があったが、1990年代以降、市民、NPO、企業、行政などの多様な主体による、環境保全への取組により、清流が復元し、「水の都・三島」の象徴的施設として市民の憩いの場所となっている。



市民の憩いの場所である源兵衛川

小浜池



江戸時代の三島宿の様子。小浜池から源兵衛川が流れています。



環境教育の拠点にもなっています。



湧水が豊富な源兵衛川(昭和30年代) 汚れた源兵衛川(昭和35年～平成元年)
(出典：グラウンドワーク三島)

環境再生された源兵衛川(平成14年)

問い合わせ先 三島市 農政課 TEL.055-973-2654